

受講番号 18061 学校名 北稜中学校希望が丘分校 氏名 竹田 祝悦

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 中学2年 生徒数 7名
 科目名 2学年 単位数(授業時数) 3時間 使用教科書名 ONE WORLD English Course 2

クラスの様子・特徴

英語を学ぼうとする意欲はあっても、自信が持てないのか、リーディングの音が小さかったり、質問に答えようとしない。CDの聞き取りも不確実。出身学校での学習が不十分で英語がわからないとあきらめている生徒が多い。板書を写すことはほぼ全員できる。

問題の確定

「分かった」という思いを大切にしたい授業をしたい。それが学習面でも良好な結果がもたらされ、自立支援の一つになると思う。

予備調査

A 授業の観察

5月始め、男子3名、女子1名での授業。ALTの天気を題材にした会話練習。関心を示さず、話し掛けにも応答しない。コーラスリーディングでも声を出す生徒はいない。新出単語の指導でワークシートを配布するが、私語を始め、活動しようとしなない。

B 生徒による授業評価

それでも、生徒の多くは、「授業が嫌い」、「授業がわからない」等の呟きをぶつけてくる。観察からもコツコツと取り組むことを嫌う生徒が多い。長く学園生活を送っている生徒は、生活も落ち着き、学習にも取り組むことができ、学習成果も出ている。

C 学力データ

昨年度から引き続き在籍している2名は、落ち着いた生活ができ、定期テストでも良い結果が出ている。CRTでは、聞くことの得点率(53.3)は他の話す、読む、書くことに比べれば高い。しかし、4つの領域共に全国の得点率を大きく下回る。

リサーチ・クエスト

生徒が自信をもって授業に参加し、英語がわかる・できるという実感が持て、基礎的な英語力をつけるためには、どのような指導をすればよいか。

仮説・実践・検証

仮説1

英語がわからないという理由の一つに、英語が読めないという理由があるだろう。また、CRTでも読み方の得点率が低いので、読みづらい単語には生徒が理解できるように、読み方をカタカナで示し、授業でも生徒の実態に応じた音読練習を丁寧に行えば、英語が分かるという実感が持て、意欲的に学習に取り組むだろう。

実践1

教科書の新出単語と本文を書いたワークシートを作成した。新出単語は板書し、CDを聞かせた。何と聞かえたか指名し、それらしい読み方をシートに記入させた。意味を板書して、モデルリーディングの後、口頭で音読練習をさせた。本文の指導もフレーズ毎に読み方を示し、それらしい読み方をカタカナで板書し、シートに記入させた。意味も板書しシートに記入させた。単語、本文とも読めることを大切にしたい。

検証1

簡単なアンケートを行い、読むことでは、5名の生徒が「良好」、「ほぼ良好」、「慣れてきた」と答えた。読み方の指導の効果が現れていると言える。その内、転入前にはほとんど読めなかったが、分校に来て、イと答えた生徒がいる。聞くことで、ア、イ、ウと答えた生徒が4名いる。だが、2名が読むこと、聞くことに、「苦手」と答えている。学習の困難性はあるが、施設での生活が不十分で授業にも取り組めていない。

仮説2

何とか英語が読めるようになったことで、何度も練習し、基礎的な英語力として定着させるために、授業で学習した英文を音読する課題と筆写する課題の家庭学習のプリント(宿題プリント)を、寮の職員の手を借りながら継続して行うことで、学習する習慣が身につく、英語がわかるという実感を一層強く持てるだろう。

実践2

毎週水曜日に英語の宿題がある。授業で指導した英文を6つ選び、音読の課題と筆写の課題を一枚のシートにおさめた宿題プリントを作成した。寮の職員に三回音読を聞いてもらい宿題プリントにコメントをもらう。6つの英文を3回筆写するようにした。水曜日に課し翌日に提出。金曜日に金曜テストを実施した。9月から11月で10回実施した。5名の生徒は、きちんと取り組み、丁寧に練習できている。この2名が次の課題である。

検証2

寮職員のコメントでは、5名がよく読めているという評価をもらっている。その中で、ずいぶんスラスラ読めるようになりましてというコメントももらった生徒がいる。授業態度も良好で、本人の努力の跡が伺える。本校の生徒は何か認めてもらいたいという気持ちを出してくる。寮職員の協力があるが、この気持ちを生かすことができた取り組みだと思う。だがどうしても不十分な生徒が2名いる。

仮説3

宿題プリントで取り組んだことを引き継いで、達成可能な問題の小テスト(金曜テスト)を実施する。それに合格できれば、生徒は自ら達成感を感じることができ、次回も合格しようと意欲が増えてきて、学習に意欲的に取り組むであろう。そのことで授業の定着を計ることができ、英語の基礎的な力が身につくであろう。

実践3

宿題プリントで出した6つの英文から小テスト(金曜テスト)を実施した。内容は、英文を5つ選び、それぞれに単語を一つ抜いてブランクを作る。指導者が英文を読んでそれを聞き、ブランクに英単語を埋めるようにした。3問以上正解すれば合格。9月から11月の間に8回実施した。更に定期テストに出題した。中間テストではそれまでのテストから6問、期末テストには5問出題した。問題も出題方法も金曜テストと同じにした。

検証3

最初の3回は、テストに慣れていないのか、学習の仕方も身に付いていないのか、得点が安定しない。4回目以降は高得点が続き、5名が合格点をとった。1名は、一時は頑張りを見せたが、長続きはできていない。また、一度も合格できていない生徒もいる。中間テストでは、5名が全問正解で、その内3名は期末テストでも全問正解だった。この5名については、授業の定着は図れ、基礎的な力につながっていると言える。

研究の成果

5名の生徒は、ワークシート、宿題プリント、金曜テストの課題に良い結果を残している。それは、授業での音読の学習がうまく達成でき、その後の学習にもスムーズに取り組めたからであろう。その中に、ALTの授業にも興味を示し積極的に参加して自分からテーマをリクエストした生徒が2名いる。ALTには入国審査、チェックイン等旅行の英会話の指導をお願いしたが、このリクエストは、話すことにもつながった良い結果であろう。授業では、コーラスリーディングも大きくなり、ノートも全員がとれる。定期テストの結果も大変良い。

今後の授業改善の課題

生徒がわかるという実感を持てるためにも、音読と筆写の指導は継続する。だが、ワークシートを教員が準備しているが、生徒がノートに新出単語と本文を学習として書いてくるようにさせたい。また、授業ではALTとも協力して、話す活動をもっと多くしたい。宿題プリントと金曜テストは施設職員の協力で生徒も読めるようになり、金曜テストでも良い結果が得られているので、継続をし、基礎的な英語の力をつけさせたい。